

平成17年度 事業評価書

地域名	高知県梶原町	選定年度	H16年度	事業規模	小規模事業
まちづくり協議会名	環境の里づくり推進委員会				
モデル事業名	環境と共生のまちづくり事業				

1. 事業の実施状況

委託事業	H16年度	普及啓発事業として、地域単位における節電コンテスト等を開催。また、小学校の総合時間内で、自然エネルギーに係る環境学習等を実施した。
	H17年度	普及啓発事業として、地域単位における節電コンテスト等を開催した。
交付金事業	H16年度	マイクロガスタービンコージェネレーションシステム設置事業として、マイクロガスタービンコージェネレーションシステムを設置。 太陽光発電設備設置事業として、太陽光発電施設を設置。 風力・太陽光ハイブリッド発電設備設置事業として、風力・太陽光ハイブリッド発電設備を設置。 高断熱・複層ガラス等導入補助として、一般住宅へ高断熱・複層ガラスを導入。
	H17年度	(H17年度から交付金の交付対象となったまちづくり協議会の設立等に時間を要し、事業未実施)

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	<p>委託事業で各地域の節電状況の把握をするほか、交付金事業で高断熱・複層ガラス等導入補助事業を行うなど省エネに係る取組を推進しているが、得られた効果としてはあまり大きなものとはなっておらず、特色も少ない。 個人住宅への導入効果は、住民のライフスタイルへの意識の高さと深く関連しており、普及事業の内容と連動するよう再構築が必要。 H18年度の交付金事業である町総合庁舎の徹底した省エネ対策を、省エネ改修のモデルとして活用するとともに、従前の取組と併せ更なる展開を期待する。</p>		
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果	備考	
	目標値	36	H16年度事業分
	実績値	17	H16年度整備施設のH17年度稼働実績
(目標値・実績値単位:t-CO2/年)			
	<p>太陽光発電設備設置事業について、概ね目標通りの削減効果が得られているが、その他の事業については、効果測定の方法等について検討が必要。</p>		
③経済活性化効果	<p>事業による節減額が効果として得られているが、事業の効果としては当該事業の維持管理等に係る支出も算出し、収支を把握した上で評価する必要がある。 地域の多様な資源を活用する交付事業全体をつなぐ新エネルギー活用による総合的な経済活性化戦略が必要。</p>		
④その他	<p>地域単位の節電コンテストと、設備導入事業の連携を考え、継続的に効果を発揮するようなまちづくりの総合戦略が必要。 小規模自治体としては出来る限りの努力をし、環境保全意識の向上に努力している。</p>		